

令和7年度留萌管内PTA連合会研究大会 兼 留萌管内PTA子育て研修会・学力向上推進事業「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」



令和7年10月21日（火）、留萌合同庁舎を会場に留萌管内PTA連合会と北海道教育庁留萌教育局の主催で標記の事業を開催しました。本事業は、PTA研究大会の主題である「北の大地に根ざした人間性豊かな子どもを育てよう」と、「社会全体で意識の向上を図り、子どもの望ましい生活習慣や学習習慣の定着に向けた取組を促進する」ことを趣旨として例年実施しています。当日は、PTAの関係者を中心に会場約160名、オンライン約60名と多くの方に参加いただきました。

講演：「Challenge with dream ー失敗を恐れずに！ー」
講師：北海道日本ハムファイターズスペシャルアドバイザー・学校法人田中学園理事長 田中 賢介 氏
トークセッションファシリテーター：学校法人田中学園 松浦 靖高 氏



田中賢介氏と松浦靖高氏の講演の様子

元日本ハムファイターズ選手で学校法人田中学園理事長の田中賢介氏を講師に迎え、幼少期からの野球経験、プロとしての挑戦、海外での学び、そして教育への取組について伺いました。小学2年生で野球を始めた田中氏は、4年生から6年間毎朝走ることを日課としていたと紹介し「小さな習慣を続けることが大事で、これが将来の力になる」「スカウトが注目するのは技術より性格や練習態度」と、努力と継続の大切さや日々の姿勢の重要性を強調しました。

また、メジャーリーグ挑戦を経て「失敗しても挑戦することに意味がある」との考えを持ったこと、シーズンオフに滞在したベネズエラで子どもたちの教育環境を目の当たりにし、教育について考えたことが、田中学園の設立に繋がっていると語りました。

田中学園では、自身が北海道に育てられたという実感から北海道の子どもたちに貢献したいとの思いを原動力に、学校づくりや地域連携に取り組んでいます。職場では「ナイストライ」を合言葉に、職員が子どものために行う挑戦を認め合う文化を大切にしているとのこと。

家庭教育については、子どもの主体性を尊重する姿勢を呼びかけました。また、「学ぶ意欲のある子どもが学べる環境をつくるのは大人の仕事」と、学校だけでなく地域や企業が協力して教育を支える仕組みの必要性を語りました。

参加者からは、「講師がいろいろなことに熱意をもって取り組んでいることが伝わってきました。過程を大事にとよく言われるが、トライを認めることを心がけていきたいと思いました。」「田中賢介さんのこれまでの体験や実践を聞くことができ大変有意義でした。参加者からの質問に、『家庭教育で大切なことはその家にとってベストな方法を模索していくこと』と答えていたのが印象に残りました」などの感想が寄せられ、様々な立場から子どもの成長を考える機会となる、大変意義深い時間となりました。



管内の教職員、子どもたちに向けたサインをいただきました

説明：「望ましい生活習慣と学習習慣の定着に向けて」
説明者：留萌教育局教育支援課学校教育指導班主査・社会教育指導班主査

講演の後に、留萌教育局から子どもの望ましい生活習慣・学習習慣の定着に関する説明を行いました。説明のはじめに行った参加者へのアンケートでは、「家族・自分で生活に関する約束やルールを決めようと思うことはありますか」という質問に対し、回答者の80%が「よくある」「たまにある」を選択し、生活習慣の改善に向け動き出したいと思う方が多いことがわかりました。

当日紹介した資料や動画にアクセスできる二次元コードの一部を紹介します

- 道教委 望ましい生活習慣・学習習慣定着のページ
- 家庭学習のすすめ～おうちでまなぼう～
- スポーツ選手による読書活動応援動画



第2弾の動画が公開されました！
 社会教育課Youtubeチャンネルから視聴できます

